



## 2023年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年11月11日

上場会社名 (株)アルバック 上場取引所 東  
 コード番号 6728 URL <https://www.ulvac.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岩下 節生  
 問合せ先責任者 (役職名) 理事 IR部長 (氏名) 梅田 彰 TEL 0467-89-2033  
 四半期報告書提出予定日 2022年11月11日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（国内機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満四捨五入)

### 1. 2023年6月期第1四半期の連結業績（2022年7月1日～2022年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年6月期第1四半期	56,182	18.5	5,120	43.4	5,245	49.2	4,053	81.5
2022年6月期第1四半期	47,419	29.7	3,570	261.0	3,517	242.1	2,233	588.5

(注) 包括利益 2023年6月期第1四半期 2,992百万円 (32.7%) 2022年6月期第1四半期 2,255百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年6月期第1四半期	82.29	—
2022年6月期第1四半期	45.35	—

(注) 2022年6月期第1四半期の包括利益の対前年同四半期増減率は、1,000%を超えるため、「—」と記載しております。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年6月期第1四半期	344,593	192,771	54.2
2022年6月期	354,304	196,484	53.3

(参考) 自己資本 2023年6月期第1四半期 186,722百万円 2022年6月期 188,977百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年6月期	—	—	—	124.00	124.00
2023年6月期	—	—	—	—	—
2023年6月期（予想）	—	—	—	141.00	141.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2023年6月期の連結業績予想（2022年7月1日～2023年6月30日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	118,000	11.7	13,500	18.3	14,000	16.2	9,200	13.1	186.81
通期	250,000	3.6	34,500	14.8	35,500	10.2	23,000	13.8	467.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）アルバック東北株式会社

（注）詳細は、添付資料10ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（注）詳細は、添付資料10ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年6月期1Q	49,355,938株	2022年6月期	49,355,938株
② 期末自己株式数	2023年6月期1Q	106,983株	2022年6月期	106,961株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年6月期1Q	49,248,963株	2022年6月期1Q	49,249,007株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動) .....	10
(会計方針の変更) .....	10
(セグメント情報) .....	11
3. 補足情報 .....	13
(1) 販売実績 .....	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(単位：百万円)

	2022年6月期 第1四半期	2023年6月期 第1四半期	前年同期比 (増減率)
受注高	66,280	66,625	0.5%
売上高	47,419	56,182	18.5%
営業利益	3,570	5,120	43.4%
経常利益	3,517	5,245	49.2%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	2,233	4,053	81.5%

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、穏やかな回復基調で推移しましたが、原材料価格の上昇やサプライチェーンの混乱、部材不足の長期化、各国のインフレ抑制に向けた金融引き締めに伴う景気後退懸念の高まりなど、先行きに対する不透明感が高まりました。

当社グループを取り巻く事業環境は、半導体業界では、スマートフォンやパソコンなどの需要減速に伴い半導体製造装置の新規設備投資に慎重な動きがみられたものの、エレクトロニクス分野では、グリーンエネルギー化・EV化進展等に伴うパワーデバイス投資、スマート社会の実現に向けた各種電子デバイス投資や中国の国産化投資が引き続き活発でした。フラットパネルディスプレイ (FPD) 業界においては、前年度、活発化したタブレットやパソコン・車載用などITパネル用液晶投資の反動減の影響がありますが、スマートフォン、タブレットなどの液晶から有機ELへのシフトに対応した大型基板の有機EL投資が今後増加することが期待されています。

このような状況において、当第1四半期連結累計期間につきましては、受注高は666億25百万円(前年同期比3億45百万円(0.5%)増)、売上高は561億82百万円(同87億63百万円(18.5%)増)となりました。また、損益につきましては、営業利益は51億20百万円(同15億50百万円(43.4%)増)、経常利益は52億45百万円(同17億29百万円(49.2%)増)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、40億53百万円(同18億19百万円(81.5%)増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりです。

「真空機器事業」

(単位：百万円)

	2022年6月期 第1四半期	2023年6月期 第1四半期	前年同期比 (増減率)
受注高	55,861	55,751	△0.2%
売上高	39,669	46,108	16.2%
営業利益	3,534	4,297	21.6%

真空機器事業を品目別に見ると次のとおりです。

(FPD製造装置)

FPD製造装置は、前年度、活発化したITパネル用液晶投資の反動減の影響により、受注高は前年同期を下回りましたが、売上高は前年同期を上回りました。

(半導体及び電子部品製造装置)

半導体及び電子部品製造装置は、メモリ・ロジック向け投資の寄与、パワーデバイス・オプトデバイス等の投資活発化、中国のエレクトロニクス国産化に向けた投資活発化などにより、受注高、売上高ともに前年同期を上回りました。

(コンポーネント)

コンポーネント事業は、半導体電子・EV用バッテリー・民生機器関連の投資活発化により、真空ポンプ・計測機器・電源機器などが好調に推移し、受注高、売上高ともに前年同期を上回りました。

(一般産業用装置)

自動車部品製造用真空熱処理炉や高機能磁石製造装置、漏れ検査装置などが寄与し、受注高、売上高ともに前年同期を上回りました。

その結果、真空機器事業の受注高は557億51百万円、受注残高は1,171億76百万円、売上高は461億8百万円となり、42億97百万円の営業利益となりました。

「真空応用事業」

(単位：百万円)

	2022年6月期 第1四半期	2023年6月期 第1四半期	前年同期比 (増減率)
受注高	10,418	10,874	4.4%
売上高	7,750	10,074	30.0%
営業利益	12	762	—

真空応用事業を品目別に見ると次のとおりです。

(材料)

FPD関連の装置稼働率低下等により受注高は前年同期並みとなりましたが、売上高は前年同期を上回りました。

(その他)

表面分析機器関連や高精細・高機能ディスプレイ向けマスクブランクス関連が寄与し、受注高、売上高ともに前年同期を上回りました。

その結果、真空応用事業の受注高は108億74百万円、受注残高は138億23百万円、売上高は100億74百万円となり、7億62百万円の営業利益となりました。

（2）財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の財政状態は以下のとおりとなりました。

資産合計は、前連結会計年度末に比べ、97億11百万円減少となりました。主な要因は、棚卸資産が50億78百万円増加した一方で、受取手形、売掛金及び契約資産が73億40百万円、現金及び預金が66億28百万円それぞれ減少したことなどによります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ、59億97百万円減少となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金が32億99百万円、未払法人税等が18億22百万円、長期借入金が15億76百万円それぞれ減少したことなどによります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ、37億14百万円減少となりました。主な要因は、利益剰余金が20億67百万円減少したことなどによります。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況は以下のとおりとなりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益、減価償却費、売上債権の減少などのプラス要因に対し、棚卸資産の増加、仕入債務の減少などのマイナス要因により、51億6百万円の収入（前年同期は70億57百万円の収入）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形及び無形固定資産の取得による支出などにより、33億31百万円の支出（前年同期は6億82百万円の支出）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払、長期借入金の返済などにより83億46百万円の支出（前年同期は65億98百万円の支出）となりました。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ、67億14百万円減少し、1,003億92百万円となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年6月期の業績予想につきましては、前回公表値（2022年8月9日）の見通しを変えておりません。

（注）本資料に記載の業績見通し並びに将来予測は、現在入手可能な情報に基づき作成されたものです。世界経済情勢、半導体・電子部品・FPD・原材料などの市況、設備投資の動向、急速な技術革新への対応、為替レートの変動など様々な要因により、実際の業績・成果等はこれらの見通し・将来予測と大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	118,040	111,413
受取手形、売掛金及び契約資産	86,331	78,991
商品及び製品	4,500	5,277
仕掛品	29,090	32,230
原材料及び貯蔵品	15,849	17,009
その他	10,562	8,094
貸倒引当金	△525	△508
流動資産合計	263,847	252,507
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	26,883	26,546
機械装置及び運搬具（純額）	15,735	15,547
工具、器具及び備品（純額）	1,774	1,845
土地	8,360	8,352
リース資産（純額）	3,157	3,945
建設仮勘定	9,087	11,106
有形固定資産合計	64,995	67,340
無形固定資産		
リース資産	27	23
ソフトウェア	1,603	1,788
その他	2,085	1,879
無形固定資産合計	3,715	3,689
投資その他の資産		
投資有価証券	6,882	7,406
繰延税金資産	6,990	6,185
その他	9,869	9,449
貸倒引当金	△1,995	△1,983
投資その他の資産合計	21,746	21,057
固定資産合計	90,457	92,086
資産合計	354,304	344,593

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	55,030	51,731
短期借入金	9,618	9,644
リース債務	679	917
未払法人税等	3,813	1,991
契約負債	25,245	24,792
賞与引当金	5,918	5,472
役員賞与引当金	404	107
製品保証引当金	1,387	1,547
受注損失引当金	16	17
その他	14,651	15,548
流動負債合計	116,762	111,768
固定負債		
長期借入金	29,910	28,335
リース債務	2,562	3,137
繰延税金負債	128	167
退職給付に係る負債	7,400	7,329
役員株式給付引当金	272	323
資産除去債務	416	418
その他	368	346
固定負債合計	41,057	40,055
負債合計	157,820	151,822
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,873	20,873
資本剰余金	3,912	3,912
利益剰余金	152,514	150,447
自己株式	△344	△344
株主資本合計	176,955	174,888
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,440	1,646
為替換算調整勘定	12,282	11,803
退職給付に係る調整累計額	△1,700	△1,615
その他の包括利益累計額合計	12,022	11,834
非支配株主持分	7,508	6,049
純資産合計	196,484	192,771
負債純資産合計	354,304	344,593



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年9月30日)
売上高	47,419	56,182
売上原価	34,189	39,728
売上総利益	13,231	16,454
販売費及び一般管理費	9,661	11,334
営業利益	3,570	5,120
営業外収益		
受取利息	42	63
受取配当金	142	105
持分法による投資利益	119	153
その他	313	288
営業外収益合計	616	609
営業外費用		
支払利息	105	112
為替差損	176	198
新型コロナウイルス感染症対応費用	232	—
その他	156	173
営業外費用合計	669	484
経常利益	3,517	5,245
特別利益		
関係会社株式売却益	670	—
特別利益合計	670	—
特別損失		
減損損失	—	37
特別損失合計	—	37
税金等調整前四半期純利益	4,187	5,208
法人税、住民税及び事業税	1,531	1,320
法人税等調整額	258	707
法人税等合計	1,789	2,027
四半期純利益	2,397	3,181
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	164	△871
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,233	4,053

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	2,397	3,181
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△56	213
為替換算調整勘定	△204	△492
退職給付に係る調整額	68	85
持分法適用会社に対する持分相当額	50	5
その他の包括利益合計	△142	△189
四半期包括利益	2,255	2,992
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,110	3,865
非支配株主に係る四半期包括利益	145	△873

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	4,187	5,208
減価償却費	2,015	1,981
減損損失	—	37
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	21	△28
賞与引当金の増減額 (△は減少)	1,190	△448
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△125	53
役員株式給付引当金の増減額 (△は減少)	19	51
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	43	156
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	△793	1
受取利息及び受取配当金	△184	△168
支払利息	105	112
持分法による投資損益 (△は益)	△119	△153
関係会社株式売却損益 (△は益)	△670	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△2,337	7,115
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△3,403	△5,059
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,189	△3,655
契約負債の増減額 (△は減少)	7,099	△663
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△142	△939
未収消費税等の増減額 (△は増加)	2,327	3,986
その他	△738	2,301
小計	9,685	9,888
利息及び配当金の受取額	211	162
利息の支払額	△103	△113
法人税等の支払額	△2,736	△4,831
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,057	5,106
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△4,861	△6,822
定期預金の払戻による収入	4,779	6,705
有形及び無形固定資産の取得による支出	△1,446	△3,285
関係会社株式の売却による収入	700	—
その他	146	71
投資活動によるキャッシュ・フロー	△682	△3,331
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	239	46
長期借入金の返済による支出	△1,379	△1,535
配当金の支払額	△4,553	△5,957
自己株式の取得による支出	—	△0
その他	△904	△900
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,598	△8,346
現金及び現金同等物に係る換算差額	11	△143
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△212	△6,714
現金及び現金同等物の期首残高	83,061	107,106
現金及び現金同等物の四半期末残高	82,849	100,392

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

当第1四半期連結会計期間において、当社の連結子会社であったアルバック東北株式会社及びアルバック九州株式会社は当社を存続会社とする吸収合併により消滅したため、連結の範囲から除外しております。

(会計方針の変更)

(米国会計基準ASU第2016-02号「リース」の適用)

米国の連結子会社において、当第1四半期連結会計期間よりASU第2016-02号「リース」を適用しております。これにより、借手のリースは、原則としてすべてのリースについて資産及び負債を認識しております。当該会計基準の適用にあたっては、経過的な取扱いに従っており、会計方針の変更による累積的影響額を適用開始日に認識する方法を採用しております。

なお、当第1四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年7月1日 至 2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	真空機器事業	真空応用事業	計		
売上高					
一時点で移転される財又は サービス	16,291	6,327	22,618	—	22,618
一定の期間にわたり移転さ れる財又はサービス	23,378	1,424	24,802	—	24,802
顧客との契約から生じる収 益	39,669	7,750	47,419	—	47,419
外部顧客への売上高	39,669	7,750	47,419	—	47,419
セグメント間の内部売上高 又は振替高	797	300	1,097	△1,097	—
計	40,466	8,050	48,516	△1,097	47,419
セグメント利益	3,534	12	3,546	24	3,570

(注) 1. 調整額は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 2022年7月1日 至 2022年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	真空機器事業	真空応用事業	計		
売上高					
一時点で移転される財又は サービス	17,677	7,747	25,425	—	25,425
一定の期間にわたり移転さ れる財又はサービス	28,430	2,327	30,757	—	30,757
顧客との契約から生じる収 益	46,108	10,074	56,182	—	56,182
外部顧客への売上高	46,108	10,074	56,182	—	56,182
セグメント間の内部売上高 又は振替高	386	727	1,113	△1,113	—
計	46,494	10,801	57,295	△1,113	56,182
セグメント利益	4,297	762	5,059	61	5,120

(注) 1. 調整額は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

3. 補足情報

(1) 販売実績

当第1四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高 (百万円)	前年同期比 (%)
真空機器事業	46,108	116.2
真空応用事業	10,074	130.0
合計	56,182	118.5

(注) 1. 真空機器事業の主な品目別販売実績及び当該販売実績に対する割合は次のとおりであります。

品目	当第1四半期連結累計期間	
	販売高 (百万円)	割合 (%)
FPD製造装置	16,444	35.7
半導体及び電子部品製造装置	17,055	37.0
コンポーネント	7,241	15.7
一般産業用装置	5,367	11.6
計	46,108	100.0

2. 真空応用事業の主な品目別販売実績及び当該販売実績に対する割合は次のとおりであります。

品目	当第1四半期連結累計期間	
	販売高 (百万円)	割合 (%)
材料	4,807	47.7
その他	5,267	52.3
計	10,074	100.0